

Catalogue No.

20631-82

板そば

山形県は明治から昭和初期まで養蚕が盛んでした。養蚕は、蚕が繭を作るときが一番忙しく、知人や近所の人たちの手を借りていました。その労をねぎらい、酒と「大きな箱板に盛り付けた手打ちそば」を振舞ったのが板そばの由来といわれています。



檜・板そば(身・竹ス) 大(塗装付) 重量

20-082-01(21439) 7,630円
約44×20×H5cm
※竹スタレ(約39.5×17.8cm)付 ※竹籠はイメージ

Super EX
スーパーEX塗装

杉・板そば(竹ス付)

20-082-02(18181) 7,800円
約39.5×18.8×H4cm
※竹スタレ(約27.5×17cm)付 ※スーパーEX塗装 > P22参照
※写真はイメージ



焼杉・板そば(身・竹ス)

20-082-03(21441) 大(塗装付) 6,980円
約44×20×H5cm ※竹スタレ(約39.5×17.8cm)付
20-082-04(21437) 小(塗装付) 5,240円
約32.2×18.2×H3.8cm ※竹スタレ(約27.5×16.5cm)付

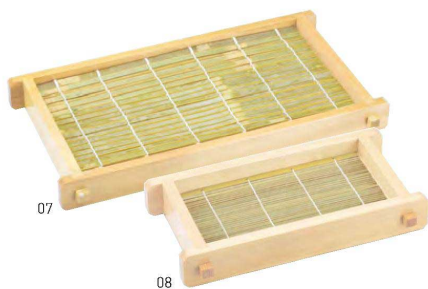


檜・板そば(身・竹ス)

20-082-05(21438) 足付(塗装付) 7,200円
約34.5×18.5×H5.5cm ※竹スタレ(約32.2×16.3cm)付
20-082-06(21436) 小(塗装付) 6,080円
約32.2×18.2×H3.8cm ※竹スタレ(約27.5×16.5cm)付
※写真の名人はイメージです。
※名人代別途見積

へぎそば

「へぎ」とはそばを入れる「木製・浅底の四角い箱」のことで、昔は板を「剥ぐ」で作っていて、この「剥ぐ」が「へぎ」という風に訛って、いつしか「へぎ」と呼ばれるようになりました。布海苔(ふのり)と呼ばれる海藻を使って打ったこのそばは、新潟県の小千谷市が発祥とされています。



底板付へぎセイロ

20-082-07(21268) 大(塗装付) 14,450円
約50×27.5×H5cm ※竹スタレ(約42.5×22.5cm)付
20-082-08(21269) 小(塗装付) 8,650円
約32×18×H5cm ※竹スタレ(約24.5×13cm)付
※竹ス付



※07・08底板が一体となったタイプです。

白木・へぎセイロ(底ザンタイプ)

20-082-09(21058) 大(塗装付) 12,450円
約50×27.5×H5cm ※竹スタレ(約42.5×22.5cm)付
20-082-10(21059) 小(塗装付) 7,270円
約32×18×H5cm ※竹スタレ(約24.5×13cm)付
※竹ス付



※09・10底ザンタイプです。

※上記価格は税抜き価格です。

板そばへぎそば

調理道具

せいろ

鍋 鍋

うどん

竹製品

銀彩

弁当

碗 飯器

皿 料理箱

盛込

ピツフェ

珍小鉢

酒の器

演出小物

紙製品

卓上用品

陳列備品

説明

品名検索

番号検索